

平成24年度  
祝第65回卒業式  
伊是名村立伊是名中学校



今月号の主な内容  
平成25年度 施政方針  
卒園式・卒業式  
地域包括支援センターだより②  
農業の神様に感謝

# いぜん子

広報  
IZENA



伊是名 仲田 諸見内 花 勢理客

男	163	201	263	102	101	計	830人	1
女	159	211	192	89	98		749人	△6
計	322	412	455	191	199		1,579人	△5
世帯数	165	222	238	84	85		794	△2

村の人口【計 1,579人】平成25年2月28日現在

平成25年  
No.506  
4

村のホームページ

<http://will.izena.okinawa.jp>



歴史の島 自然の宝庫 ハブのいない伊是名島

# 平成25年度 施政方針

伊是名村長 前田 政 義



## I はじめに

本日、平成25年 第1回伊是名村議会定例会の開会にあたり、議員各位の御健勝を心からお喜び申し上げますとともに、日々の御精励に対し深く敬意を表します。

この度の議会は、平成25年度の村政運営の基本となる予算案をはじめ、多くの重要な案件について御審議をお願いするものであります。

このため、議案の審議に先立ち、まず村政運営にあたっての私の所信の一端と主要施策の概要を申し述べ、議員各位並びに村民の皆様への御理解と御協力を賜りたいと存じます。

昨年は、沖縄が日本復帰して40周年の歴史的節目を迎え、沖縄県では復帰40周年記念事業として、政府共催による記念式典をはじめ全国豊かな海づくり大会など多くの記念行事が行われました。

また、復帰記念日の5月15日には、県勢発展の方向性を示した「沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」を決定し、新たな沖縄の創造に向けた取り組みが始まりました。沖縄県では同計画に基づき、自由度の高い沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）や、拡充された各種制度を活用しながら、社会と経済の好循環による本県の自立的・持続的発展に取り組んでいくこととしております。

本村においても、新しいしまづくりの指針となる「第四次伊是名村総合計画（基本構想・基本計画）」が始まり、計画初年度から同計画に基づく各般の振興事業が推進されてきました。

特に、重点施策事業については、北部振興事業及び一括交付金の活用を図ってきましたが、中でも北部振興事業（非公共）で整備した水産基盤の「伊是名村特産品（モズク）最終選別施設」は、本村水産業の振興はもとより、モズクのきめ細かな選別による安心・安全で良質な原材料の確保、及び流通・販売面における販路拡大が期待されています。

また、平成24年度からスタートした北部連携促進事業では、懸案の「仲田港海岸（ターシ浜）」の整備が高潮対策事業の一環として採択され、平成26年度まで実施されます。同海岸は既設護岸前面の砂浜が浸食され、台風襲来時における護岸越波による背後建物等への塩害を余儀なくされていますが、護岸・養浜整備をすることにより、高潮防護機能の確保が図られるとともに、オカヤドカリの生息及びウミガメの産卵等の豊かな自然環境および景観の復元、伊是名城跡、番屋体験館等の各観光拠点と連携した海岸利用が可能となります。よって、当海岸を緊急的に整備し、高潮・波浪に対する防護機能を早期に向上させ、災害に強い村土の創出及び安全・安心な生活環境の形成を図ります。

さらに、一括交付金においては、2015年（平成27年）尚円王生誕600年記念行事や、関連施設整備を進めるための「尚円王（金丸）生誕の村整備事業」をはじめ、「伊是名島定住条件整備促進事業」、「尚円王の里人材育成事業」、「伊是名村農林水産振興事業」等ハード、ソフト各分野の振興策が推進され、第4次伊是名村総合計画に基づく「新たなしまづくり」への第一歩を踏み出しました。引き続き、両制度を推進するとともに、制度の活用にあたっては村民並びに各種団体等とも連携し、さらなる振興策が推進できるよう取り組んでまいります。

それから、新たなしまづくり振興策として見逃すことのできないのが、観光協会の設立であります。設立後1年間における入域観光客数は3万人余を数え、伊是名島観光振興計画2ndステージ（2012~2016年度）初年度にして、目標値80%を達成することができました。これも観光協会設立の効果であり、今後は「いぜな島観光協会」と連携し、計画3rdステージ2017年度を目標に、入域観光客数4万3000人の達成を目指してまいります。

次に、平成25年度村政運営にあたっての基本的事項を申し述べたいと思います。

### 第1に、「財政健全化への取り組みについて」申し上げます。

本村は、平成20年度において地方自治体財政健全化法に基づく「早期健全化団体」に指定されたことに伴い、平成21年度に「財政健全化計画」を策定し、中長期的な視点に立った歳入確保を図るとともに、全般的な事務事業の見直しによる歳出削減に取り組んできたところ、平成23年度に早期健全化団体から脱することができました。

しかし、実質公債費比率が22.8%と公債費適正化基準を上回り、地方財政法に基づく「実質公債費比率による許可団体（18%以上25%未満）」に該当していることから、引き続き、行財政改革を推進するとともに、平成24年度策定の「公債費負担適正化計画」に沿った事業計画及び財政運営を図り、実質公債費比率18%以下の財政健全化に取り組んでまいります。

なお、財政の健全化については、次の基本方針を基軸に取り組みます。

- (1)中・長期的な視点に立った歳入の確保を図るとともに、全般的な事務事業の見直しを行い歳出の削減を図り、健全な財政運営を推進します。
- (2)単独事業の縮減により地方債の発行を抑制するとともに、活用にあたっては辺地対策事業債、過疎対策事業債などの交付税算入率の高い制度を優先的に活用していくことを基本とし、公債費負担適正化計画に沿って実質公債費比率の改善を図ります。

## 第2に、「村民福祉の総合的・効果的な推進について」申し上げます。

本村においては、これまで高齢者や障がい者に対する福祉サービスの提供、子育て支援、住民の健康づくり及び社会福祉協議会による福祉活動の推進を支援するなど、地域における福祉の充実に努めてきました。

しかしながら、本村においても一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯の増加とともに、高齢者や障がい者の見守り・生活支援のニーズが高まり、また、子育ての悩みや不安、住民の健康増進、災害時における要介護者の避難支援など様々な課題がみられます。さらに、課題は複雑化してきており、公的支援だけでは解決が難しい状況が増えてきています。

そのため、課題解決に向けた福祉の総合的・効果的な推進を図るために、村の高齢者、障がい者、子育て支援、健康づくりなどの個別計画を横断的にまとめていくとともに、住民による地域に根ざした「支えあい」の仕組みづくりが必要となっています。そうした観点から、住民参加を基本とした新たな福祉社会の構築を図るため、平成24年度に「第1次伊是名村地域福祉計画」を策定したところであり、今後は同計画で示された施策の取り組み基本方針に沿った事業展開を図り、村民福祉の総合的・効果的な推進に努めてまいります。

## 第3に、「村民の健康づくりについて」申し上げます。

健康で明るく豊かな毎日を送ることは、村民の誰しもが等しく願うことであります。しかしながら、村民の肥満者(BMI125以上)の割合は、これまでの特定健診の結果から男女とも県平均を上回り、男性においては60.8%と県内一高く、県平均をはるかに上回り、3人に2人が肥満とされています。また、高血圧、高血糖、高脂血症等3つ以上の危険因子をもつ人の割合は男女とも管内上位にあり、その現状から生活習慣病発症の危険性が高いと言わざるを得ず、まさに「いぜなの健康が危ない」と言ったところでもあります。そのことから、自分自身の健康は自分自身で考えなければならないと言うことを踏まえ、平成25年度は特定健診受診率65%達成を目指すとともに、肥満予防や生活習慣病の改善に効果的な施策展開を図り、村民の健康づくりを促進します。

## 第4に、「村営学習塾の開設について」申し上げます。

本村は、尚円王の生誕地として知られ、多くの優秀な人材を世に輩出しております。資源の乏しい我が村にとっては、「人材をもって資源となす」という理念のもとに、平成2年に教育立村宣言を行い、学校、家庭、地域、行政が一体となり、島ぐるみで学力向上に取り組み大きな成果を収めてきております。

さらに、教育委員会においては、平成24年度新たな「学力向上推進委員会」を立上げ、「尚円学習塾」及び「尚円チャレンジ塾」を開設し、児童生徒の学力向上に取り組んでいます。村としても、教育委員会の取り組みを支持するとともに、「人材をもって資源となす」という至言を目標に平成25年度において村営学習塾を開設し、児童生徒の学力向上に努めたいと考えています。

## 第5に、「産業振興及び経済活性化への取り組みについて」申し上げます。

現下の厳しい経済状況から脱却し、経済の自立と雇用の安定を図っていくことは、村政運営における最重要課題であり、早急に取り組んでいく必要があります。

このため、平成25年度当初予算案において、産業振興につながる事業を重視するとともに、公共事業の推進による村内需要の喚起と雇用情勢の改善を図ることといたしました。幸い、平成25年度県予算においても沖縄振興特別推進交付金、沖縄振興公共投資交付金に係る事業について、政策的経費として位置づけ産業振興をはじめ、主要事業等、多くの投資的効果の高い社会基盤の整備に資する事業が確保されました。その中で、雇用対策や産業振興、離島の定住条件の向上など諸施策の連携を図ることが示されていることから、今後はそれらの施策との連携を図りながら本村関係の多くの事業が推進され、村の産業振興及び経済活性化が図られるよう取り組んでまいります。

## 第6に、「自然・歴史を感じる景観むらづくりについて」申し上げます。

景観づくりについては、平成15年に国土交通省により、「美しい国づくり政策大綱」が示され、平成16年6月に「景観法」が制定されたことにより、国をあげて景観形成に取り組む方向性や制度的な枠組みが整えられてきております。そのことを踏まえ、沖縄県内各地において積極的な景観づくりへの取り組みが進められてきております。

本村においても、島の優れた自然や文化、豊かな景観資源を新しい時代に活かすとともに、次代へ引継ぐことを目的に平成23年度 風景づくり推進事業を導入し、景観形成に向けた取り組みを進めてきたところ、平成25年3月に景観法に基づく景観行政団体へ移行されました。それに伴い現在、景観づくりの総合的指針となる景観計画の策定を進めていますが、現時点において村景観計画検討委員会の審議及び村民からの幅広い意見等を踏まえ、新たな景観計画の素案をまとめたところであり、同計画は、本村の景観づくりに関する長期的な展望をもつものであり、計画の策定にあたっては、村民参画を基本としていることから、引き続き、計画素案をもとに検討を重ね一日も早い策定を行い、自然・歴史を感じることでできる景観むらづくりに取り組んでまいります。

#### **第7に、「尚円王生誕600年祭に向けた取り組みについて」申し上げます。**

本村は、琉球王統第二尚氏の始祖、尚円王の生誕地として知られ、王家ゆかりの史跡、文化遺跡が数多く残されている歴史の島であります。

2015年(平成27年)は、北の松金(後の尚円王)がいぜな島で生れ、生誕600年を迎えます。村としましては生誕600年を記念して「尚円王生誕600年祭」行事を企画し、昨年から取り組みを進めておりますが、既に、尚円王(金丸)生誕の村整備事業において「生誕600年祭基本構想計画」の策定業務に着手し、実施に向けた取り組み内容を検討しているところであります。平成25年度は取り組み2年目として、行事を推進すべく組織を立ち上げるとともに、同計画に示される事業内容に基づき、2015年の実施に向けた取り組みを強化してまいります。

#### **第8に、「新たな船舶建造に向けた取り組みについて」申し上げます。**

離島住民のライフラインである離島航路の確保・維持と利用環境の改善を図ることを目的として、沖縄21世紀ビジョン基本計画を踏まえ、「沖縄県離島航路船舶更新支援計画(平成24年度~平成34年度)」が、昨年沖縄県において策定され、関係市町村、航路事業者と連携の下、離島航路の船舶更新を支援し、離島の定住条件の整備を図ることとしています。

本村においても同計画を踏まえ、昨年11月に船舶建造計画検討委員会を設置し、新たな船舶建造に向けた取り組みを進めるとともに、建造計画を促進するため、県との更新年次及び建造支援の調整・協議を数回に亘って行ってきました。

その結果、平成27年度を更新年次、“他航路の動向によっては、平成26年度に設計業務実施の可能性あり”と調整が行われましたが、2月調整において「伊是名の建造支援を予定より早まる可能性あり」と、県の建造支援が1年早まることが確認されました。そのことから村としては、今後さらに調整・協議を重ねつつ、平成26年度の事業化の実現に向け取り組みを進めるとともに、2015年(平成27年)の尚円王生誕600年記念就航を目指してまいります。

#### **第9に、「新たな製糖工場建設の事業促進について」申し上げます。**

本村の新たな製糖工場建設については、これまでの取り組みの成果が実り、事業化が図られました。

同事業は、本村における世紀の大事業として村民の期待も大きいことから、事業の実施にあたっては国、県及び関係団体との連携を図り、村負担が生じないよう、積極的な取り組み体制により事業を促進してまいります。

#### **第10に、「さとうきび生産振興対策及び農業共済加入促進について」申し上げます。**

さとうきび生産は、厳しい気象条件においても比較的安定した生産が可能であり、全農家において栽培しているとともに、製糖業を通して雇用機会を確保するなど、農家経済はもとより、村の経済を支える基幹農作物であります。

しかしながら、さとうきび生産は農家の高齢化に加え、台風、病害虫等の影響により、ここ数年に亘り生産減少が続いていることから、早期回復に向けた取り組みが求められます。このため、今後は、生産基盤の整備をはじめ、農地の利用集積、優良品種導入、継続的な防除対策など各種生産振興対策を強力に推進し、さとうきび生産振興を図ります。

農業共済加入については、台風襲来や長雨による日照不足、土壌害虫による食害等で大きな被害が出ていることから、今後、さとうきび農家への共済加入推進の取り組みが求められております。

そのような現状を踏まえ、沖縄県においては、昨年度から沖縄振興特別推進交付金を活用した、さとうきび共済の加入促進を図る「沖縄型農業共済制度推進事業」により、農業共済加入促進支援事業を実施しています。本村においても、同制度の有効活用を図りつつ、さとうきび増産体制の整備を図るとともに、農家が安心して農業経営が行えるよう、農業共済事業の普及啓発、並びに加入促進に努めます。

#### **第11に、「新規就農及び農地集積対策について」申し上げます。**

国においては、食と農林漁業の再生を早急に図り、力強い農業構造の実現に向けて、各地域の「人と農地の問題」の解決に向けた取り組みを支援する対策が平成24年度から本格的に始まりました。

本村においても、新規就農対策や農地集積協力金対策を進めるため、平成24年度に「人・農地プラン」を作成し、新規就農者を対象に青年就農給付金や農地集積協力金等の支援策を講じてきたところであります。

同制度は、農家の高齢化や後継者不足・耕作放棄地など、人と農地問題を解決する支援策でありますので、引き続き、同プランに基づき対策を講じてまいります。

### 第12に、「北部連携促進事業への取り組みについて」申し上げます。

北部振興事業については、これまで北部12市町村で活用し「15万人の圏域人口」を目標に雇用機会の創出に向けた産業の振興、並びに定住条件として魅力ある生活環境の整備を図ってきましたが、未だに目標には達せず、中南部地域に比べて産業基盤や生活環境の整備基準は低く、所得水準も十分ではないことから、若年層の流出、並びに高齢化に充分な歯止めがなされていない状況にあります。

このような現状を踏まえ、平成24年度より「北部連携促進事業」が採択されスタートしました。同事業は、県土の均衡ある発展を図る観点から、北部地域における連携促進と自立的発展の条件整備として、産業の振興や定住条件の整備などに資する振興事業を推進するものであり、計画初年度から各地域で振興事業が実施されてきております。

平成25年度も沖縄関係予算（内閣府一括計上事業）において、同事業費が確保され、その中で本村要望の継続2件（公共）、新規2件（非公共）の事業が計画されています。したがって、それら振興事業により産業振興や定住条件が図られるよう取り組んでまいります。

### 第13に、「伊平屋・伊是名架橋整備への取り組みについて」申し上げます。

沖縄の本土復帰後、本島と周辺離島および離島相互間において生活圏の広域化、一体化を促進し、地域の振興を図る観点から離島架橋の整備が推進され、これまでに18の離島架橋が整備されてきています。現在、伊良部架橋の整備が進められていますが、同架橋の整備も終盤を迎えていることから、次なる離島架橋「伊平屋・伊是名架橋（仮称）」の事業化が急がれています。

伊平屋・伊是名間架橋の整備は、空港の整備同様に両村が一つの経済圏域として振興発展するため是非とも必要であり、また、離島の隔絶性や狭小性を緩和し、振興発展を図る上でも重要であります。

また、空路等の公共交通と一体的に整備・確立することにより、両村民をはじめ来村者の利便性の向上、沖縄本島との格差の縮小、観光産業や農漁業の振興、保健医療・福祉の充実、教育文化の振興、雇用の創出、定住人口及び交流人口の増加等々、その効果は計り知れないものがあります。

したがって、今後は両村が一体となって事業化に取り組む必要があり、そのため、伊平屋・伊是名架橋建設促進協議会の活動展開を図るとともに、両村郷友会による支援組織の設置など、環境整備に向けた取り組みを一層強化してまいります。

以上のことを基本に諸施策を進めてまいります。平成25年度は第4次伊是名村総合計画2年目を迎え、同計画に盛り込まれた施策事業の着実な実行はもとより、本村の特性を踏まえた新しい施策課題にも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

以上、村政運営にあたっての所信の一端を申し上げますが、議員各位並びに村民の皆様の御理解と御協力を重ねてお願い申し上げます。

次に、平成25年度 主要施策の概要について御説明申し上げます。

## II 平成25年度主要施策

### ① 行財政改革の推進について

本村の財政状況は、歳入面では自主財源の柱である村税収入の歳入総額に占める割合が低い状況にあり、地方交付税や国庫支出金に大きく依存した構造である一方、歳出面では人件費等の義務的経費の割合が高く、弾力性に乏しい構造となっています。また、平成24年9月の財政事情調査表に示すとおり、実質公債費比率22.8% 将来負担比率107.3% 経常収支比率94.0%と依然として厳しい状況にあることから、引き続き、財政の健全化等に強力に取り組み、行財政改革を一層加速させてまいります。

### ② 村民協働のしまづくりの推進について

第4次伊是名村総合計画も2年次を迎え、いよいよ本格的なしまづくりの施策展開が求められます。これからのしまづくりは、村民と行政が、それぞれの役割を支えながら取り組んでいかなければなりません。

そのため、村民への情報公開や積極的な意見の募集・反映などとともに、村民一人ひとりが、しまづくりに主体的に参加できるような体制の強化に取り組んでまいります。

## ③男女共同参画行政の推進について

本村においては、これまで政策等の立案・決定機関（各種委員会・審議会等）に多くの女性を登用してきました。また、村職員の管理職（課長等、補佐、係長）にも女性を積極的に登用してきております。同施策は、男女が平等な立場と責任で政策等の立案・決定に共同参画することにより、女性の意識の改革、地位向上が図られることであり、引き続き、同施策を推進してまいります。

## ④産業の振興について

### (1) 農林水産業

農林水産業については、本村の地域特性を活かした生産性の高い活力ある産業を目指して、各種施策を総合的・計画的に実施してきたところ各部門において一定の成果をあげています。引き続き、農林水産業の振興を図るため、各種生産基盤の整備を図るとともに、環境と調和した持続型農林水産業への取り組みを強化します。

部門別施策については、次のとおり取り組みます。

#### ●農業の振興

農業については、国営農業水利施設の有効活用を図り、さとうきびをはじめとして、水稻、野菜、などの生産性向上、特産品の開発、収益性の高い作目の導入を促進します。また、機械化一貫作業体系の確立ならびに近代化施設の整備、流通・集出荷体制の整備を推進し、自立経営志向農家の規模拡大、農業の担い手となる後継者の育成に努めます。

農業生産基盤の整備については、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金による畑地かんがい施設の整備（仲田地区、イシジユムイ原地区）及び団体営農地保全整備事業による防風林の整備（諸見地区）を促進します。

また、新規事業として国営関連の大野山第2地区（団体営事業）の実施計画に取り組みます。

#### ●林業の振興

林業については、森林の持つ多面的機能を総合的に発揮させるため、生物多様性の保全、及び地球温暖化防止に果たす役割並びに集中豪雨の増加等の自然環境の変化も考えつつ、重視すべき機能に応じた適正な森林施業の実施や保全確保により、健全な森林資源の維持造成を推進します。

そのため、森林（保安林）維持造成事業として、引き続き伊是名・諸見両海岸の防災林造成整備を実施するとともに、村内各地区の保安林保育事業を促進します。

また、仲田海岸防災林については、造成後の台風により植栽樹木や防風工に被害が生じ、保安林機能強化が困難な状況にありますので、再整備に向けた取り組みを進めます。

#### ●畜産業の振興

畜産業については、経営基盤の安定化と優良畜種（貸付け牛）の導入を促進し、生産体制を確立します。また、耕種部門における糞尿等を利用した堆肥づくりを促進し、農地還元による地力増強を図ります。

#### ●水産業の振興

水産業については、特産品（モズク）最終選別施設が完成し、モズクのきめ細かな選別が可能となりました。今後は安心・安全で良質な原材料としての品質向上による高付加価値化を図ります。

水産基盤の漁港については、伊是名、勢理客両漁港とも基本施設の整備により安全性が確保されました。加えて浮棧橋、防暑施設等も整備され、漁業者の就労環境の向上が図られました。今後は漁港の機能強化を高めるため、関連機能施設の整備を図るとともに、漁港機能の適切な保全のため、既存施設の計画的な補修・改修に努めます。

漁場整備については、増養殖場や漁礁等を計画的に整備し、つくり育てる漁場の推進や漁船漁業の効率化を図ってまいります。また、漁場の生産力の向上を高めるため、漁業者等による集落協定に基づいて実施される諸活動（種苗放流、漁場の管理・改善、育成場の整備、海岸清掃、漁場監視）を支援するとともに、周辺海域における環境・生態系保全（魚場の保全・サンゴの移植、サンゴ食害生物（オニヒトデ除去））活動を支援します。

### (2) 商工観光及び地場産業

#### ●商工業の振興

商業については、商工会との連携のもとに共同売店や個人経営の商店などの経営安定化を目指し、村民の日常生活需要に対応できるよう、経営改善の指導、店舗の近代化を推進します。また、新たな事業展開による雇用の促進を図ります。

工業については、村の地域資源を活用した付加価値の高い生産品目の開発を展開します。また、生産・加工・販売による6次産業化を推進します。

また、建設業については、ハードを主とする公共投資が一段落した状況の中で将来的にその経営が危惧されますが、長期的に安定的な需要の確保に留意しつつ保護育成策を講じてまいります。

## ●観光産業の振興

観光産業については、尚円の里・観光立村宣言にふさわしく魅力ある観光地の形成に向けて、自然環境や景観等の魅力を守りつつ、観光関連施設の整備充実を図ります。また、観光客のニーズの多様化・高度化や量的拡大に対応するため、観光人材育成・確保等の受入体制の強化に努め、文化・芸能、自然環境など本村独自の地域資源を活用した滞在・体験型観光の推進や、スポーツ、農・漁業等の他分野産業と観光との連携促進を図ります。

なお、本村観光産業のさらなる発展を図るため、「いぜな島観光協会」と連携し、伊是名島観光振興計画の着実な実行に努めます。

## ●地場産業の振興

地場産業については、観光産業など他産業と連携し、特産品の加工施設及び直売所等の整備を促進し、農漁業体験型観光や魅力ある特産品開発など農林水産業の6次産業化への取り組みを推進します。また、観光客等との交流機会の増大や就業機会の創出及び地産地消による農林水産物の需要の拡大を図ります。

## ⑤教育の充実について

### ●幼稚園教育の充実

幼稚園教育については、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児の健やかな成長のために適度な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。このことから、幼稚園教育要領に基づき、生きる力の基礎となる豊かな「心情」や物事に自分からかかわろうとする「意欲」、健全な生活を営むために必要な「態度」を育み、幼児が主体的に環境とかがわって十分に活動し、充実感や満足感を味わえるような人的・物的・空間的環境構成の工夫に努めます。また、「遊びを通した総合的な指導の充実」、「基本的な生活習慣の形成」、「地域に開かれた幼稚園づくり」を推進してまいります。

### ●学校教育の充実

学校教育については、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、生涯学習の基礎を培うという観点から、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図るとともに、個性を生かす教育の充実に努めます。

また、学習環境ならびに施設整備の充実を図るとともに、学校・家庭・地域との連携を密にし、計画的・継続的に取り組み、学習意欲を喚起し学習の習慣化を図ります。

### ●生涯学習の充実

生涯学習については、時代の変化に伴い村民の学習ニーズも多様化・高度化しています。このようなことから、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果が社会において適切に評価され、生かされるような生涯学習社会の実現に努める必要があります。このため、生涯学習推進体制の充実に努めるとともに、産業支援センターを生生涯学習の拠点として利活用し、村民の学習ニーズに応える学習機会の拡充に努めます。

### ●教育施設等の充実

教育施設については、学習環境の充実を図るため、老朽化校舎等の建替え整備を計画的に進めてまいります。その初年度として、中学校々舎整備の事業化に向けた耐力調査を実施します。

教員宿舎については、各種調査等を行い、整備に向けて取り組みを進めます。

## ⑥青少年の健全育成について

青少年の健全育成については、家庭や学校、地域が連携し、子供たちが豊かな心を持ち、夢や実行力のある青少年の健全育成に努めます。

また、青年会活動を通し、地域の人的ふれあいを深めるようコミュニティ活動を推進します。

## ⑦スポーツ・文化の振興について

### ●スポーツの振興

スポーツの振興については、いぜな88トライアスロン大会や尚円王カップ少年サッカー大会等により、スポーツイベントの拡充を図るとともに、交流人口の増加に向けたPR活動に努めます。また、子供から高齢者まで気軽に楽しむことができる「生涯スポーツの島いぜな」づくりを推進してまいります。その実践として、平成25年度北部地区老人グラウンドゴルフ大会を誘致し、伊是名島大会を開催します。大会受入れに当たっては、村内各種団体を網羅し万全の体制で運営に協力していきます。また、大会を契機に高齢者のスポーツ・文化交流を強力に推進し、高齢者の健康増進を図るとともに、村のPR及び活性化に繋げていきます。

### ●文化・伝統芸能の振興

文化財については、村民が郷土文化に触れ歴史的な文化財への関心や意識向上に向けた周知活動に努めます。また、村内に存在する文化的価値のある資源などの調査を行い、文化財登録及び指定に取り組みます。併せて保護・保全のための関連施設の整備を促進します。

伝統芸能については、各地域の祭りや行事等をとおして、幼児・児童・生徒をはじめ、多くの住民が伝統芸能に触れ合うことができる活動を展開し、伝統芸能の後継者育成を推進します。また、優れた芸術や伝統芸能を鑑賞する機会を提供し、豊かな感性や情操を育み、文化活動の活性化と振興に努めます。

## ⑧福祉事業について

### ●社会福祉事業

平成24年度策定の「第1次伊是名村地域福祉計画」に基づき、自助、共助、公助を組み合わせた地域ぐるみの福祉を推進します。

また、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、社会福祉施設・事業所、老人クラブ連合会等、関係機関・団体等と連携し諸事業に取り組みます。

### ●高齢者福祉事業

平成24年度策定の「伊是名村高齢者保健福祉計画」に基づき、高齢者の健康長寿の伸長に努め、高齢者が介護保険の対象とならずに、できるだけ自立した生活が送れるよう疾病予防対策、健康づくり事業との連携を図ります。

### ●児童福祉事業

子育てと仕事が両立できるよう、保育サービスの充実を図るとともに、「伊是名村後期次世代育成支援行動計画」に基づく諸施策の着実な実行に努め、次世代の社会を担う子ども一人ひとりの生育を支援します。

### ●障害者福祉事業

障害者が共に安全かつ快適に生活でき、自らの意思で等しく社会活動に参加することのできるノーマライゼーションの村づくりが重要であると考えます。そのことからして、障害をもつ村民が暮らしやすい社会を目指すため、平成24年度策定の「第3次伊是名村障害者福祉計画」に基づく諸施策の実行に努めます。

## ⑨保健事業について

### ●健康増進事業

伊是名村健康増進計画「いぜな88がんじゅうプラン」に基づき、計画の基本方針と基本目標である「丈夫に育ち、元気に働き、健やかに老いる、健康な村民がすむ村づくり」の具現化を図るため、計画にある諸施策を着実に展開してまいります。

また、ウォーキングを通して運動を継続する楽しさを共有し、運動を生活習慣として取り入れ、「自分の健康は自分でつくる」という意識づけを図るため、定期的にウォーキング講習会を開催します。

### ●地域支援事業

沖縄県介護保険広域連合と連携し、第5期介護保険事業計画に基づき、村地域包括支援センター及び村指定介護予防支援事業所を拠点に地域支援事業(介護予防事業・包括的支援事業、任意事業)を推進します。

なお、包括支援センターは、役場庁舎から保健センター内に場所を移動し、福祉、保健・医療・介護保険などに関する悩み・相談ごとの総合窓口として、村民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援していきます。

また、平成24年度において、要援護者支援台帳の整備及びマップを作成したので、関係機関との連携を密にし、災害時の迅速な避難援護や日々の個別支援の充実を図ってまいります。

### ●母子保健事業

伊是名村保健センターを拠点に諸事業に取り組みます。

また、島外における妊婦健診等の交通費、宿泊費等の助成を継続します。

### ●精神保健事業

障害者基本法及び障害者自立支援法による諸事業の推進を図ります。

また、伊是名村障害者自立支援協議会及び社会福祉協議会と連携し、障害者就労継続支援B型事業の推進に努めます。

### ●予防接種事業

伊是名診療所と連携し、広報活動等で周知徹底を図り、受診率の向上を図ります。

### ●健康保険事業

伊是名村健康増進計画及び第2期特定健診等実施計画に基づき、村民の健康増進に取り組みます。

また、特定健康診査の受診率の向上を図り、村民の健康づくりに万全を期すとともに、医療費の抑制に努めます。さらに、ここ数年保険税の収納率が低調にあることから、引き続き、徴収率の向上に努めます。

## 10 生活環境の充実について

### ●一般廃棄物処理の充実

一般廃棄物の処理については、ごみ処理施設（焼却施設・資源化設備）の整備により、環境衛生面の充実化が図られました。今後は、ごみの分別、リサイクルを徹底するとともに、ごみの減量化や資源化対策等を推進し、環境への負荷の低減に努め、循環型社会の形成による生活環境の向上に努めます。

### ●簡易水道事業の充実

簡水については、新たな水源開発計画及び水質管理の徹底を図るとともに、水の安全性の確保と安定供給に努めます。また、老朽化した施設の計画的な整備に取り組みます。さらに、事業運営の健全化・効率化を進め、運営基盤の強化を図ってまいります。

なお、水道事業の広域化については、県の「新たな離島振興計画」において、“安全な水道水の安定供給及び住民負担の軽減を図る観点から、水道事業の広域化を推進する。”との基本方針が示されていますので、その実現に向けた取り組みを進めます。

### ●集落排水事業の充実

集排については、施設の適切な維持管理に努め、計画的な施設更新を検討してまいります。また、事業の運営面においては、一般会計依存型による運営となっています。今後は、事業の健全化を図るため、料金徴収率の向上及び長期滞納者への厳格な対応による滞納整理を実施するなど、徹底した徴収対策に取り組むとともに、人口減少に伴って低下し続ける事業収入の底上げを視野に入れた料金改定について検討し、一般会計依存型運営からの脱却を図ってまいります。

### ●公営住宅の充実

公営住宅については、村民の住宅確保、若年層の定住促進を図る観点から、定住促進事業等との連携を図りつつ、既存施設の適切な維持管理と計画的な整備を検討してまいります。

## 11 交通・通信体系の整備について

### ●海上交通の整備

海上交通については、旅客の輸送や生活物資等あらゆる産業の基盤として重要であります。今後も引き続き国、県と連携し事業面の充実化を図り、船舶の安定運航に努めてまいります。また、沖縄県離島住民等交通コスト負担軽減事業の離島住民割引運賃、及び島発自動車航送料金低減化を促進します。

なお、船舶「ニューいぜな」の代船建造については、船舶建造計画検討委員会の意見等を踏まえつつ、離島航路船舶更新支援計画に基づき、取り組みを強化します。

### ●空路交通の整備

空路交通については、平成10年度「ふるさと創生事業」の一環として建設された場外離着陸場の有効利用を図りつつ、フライト機便の可能性を含めた調査研究を進めます。

### ●情報通信の整備

情報通信については、村民が安心・安全で快適に過ごすことができるよう、「広域通信基盤整備(地域公共ネットワーク整備事業)」を促進します。

## 12 産業基盤の整備について

### ●道路の整備

県道については、仲田・伊是名および諸見・勢理客両路線の維持補修を実施するとともに、道路照明施設の整備を促進します。

村道については、タチハ線、城前田線、南風原線、チマイ線の整備を進めるとともに、安心できる暮らしを構築する道路整備を推進するため、道路ストックの総点検を実施します。

また、道路ストック(橋梁)の総点検を推進するため、橋梁長寿命化修繕計画の策定に努めます。

農道については、機械化等による農業生産の向上を図りつつ、維持補修を主に必要に応じて改良・舗装を進めます。

### ●港湾の整備

仲田港については、港湾機能の向上を図るため、北側護岸モデル間の防波堤(東)の整備を進めるとともに、産業バースの安全性を確保するため岸壁(-4.5m)の延伸整備を促進します。

なお、荒天時等における港内の静穏度対策、及び旧バース船尾岸の改善については、引き続き国、県に働き掛けてまいります。

内花港については、基本施設に加えて旅客待合所が整備され、利便性及び快適性の向上が図られました。今後は、港湾機能を高めるための施設整備や周辺緑地等の整備計画に取り組みます。

なお、旅客待合所および港内歩道の災害復旧については、早期に実施できるよう県との調整を図ります。  
 運天港については、旅客ターミナルの利用促進を図るとともに、安全かつ快適な環境の中で荷物取り扱いができるように、屋根付荷捌き施設の整備に取り組みます。

### 13 消防・救急体制の強化について

消防・救急体制については、村民が安心して暮らしていくため、消防団による消防訓練等を充実させ、消防・救急体制の強化を図ります。

### 14 防災対策と村土保全について

防災対策については、東日本大震災の教訓を踏まえ、早期に村地域防災計画の見直しを図り、災害危機への対応に万全を期します。加えて、大規模地震・津波の発生を想定し、村民等の避難行動に重点をおいた避難訓練を実施します。

また、村土保全に必要な海岸事業を推進し、災害に強い村土づくりに努めます。そのため、仲田港海岸（ターシ浜）及び伊是名漁港海岸の整備を促進します。

以上、平成25年度における主な施策の概要について申し上げましたが、他にも多くの施策を展開し、村民福祉の向上に努めてまいります。

## III おわりに

平成25年度の村政運営にあたっての所信の一端と主要施策の概要を申し述べましたが、厳しい財政状況下において、最少の経費で最大の効果が上げられるよう、限られた予算を最大限に活用し、第4次伊是名村総合計画のしまづくり基本目標の実現に向け、議員各位並びに村民の皆様のご支援とご協力を頂きつつ、精一杯努力する所存であることをお誓い申し上げまして、平成25年度施政方針といたします。

## 保健センターだより

平成25年度特定健診・長寿健診・がん検診の日程についてお知らせします。

また、各字公民館で健診受診説明会を行います。

年1回は必ず健診を受け自分の健康に関心を持ちましょう。

### 〈健診日程〉

日	時	場 所	内 容
5月 8日(水)	7:30~12:00	産業支援センター	特定健診・長寿健診・がん検診
5月 9日(木)	7:30~12:00	産業支援センター	特定健診・長寿健診・がん検診
5月10日(金)	7:30~12:00	産業支援センター	特定健診・長寿健診・がん検診
5月10日(金)	13:30~17:00	保健センター	婦人科検診
5月11日(土)	8:30~12:00	保健センター	婦人科検診

### 〈健診受診説明会日程〉

日	時	場 所	内 容
4月15日(月)	19時~	勢理客公民館	①昨年の健診結果について②医師の講話
4月17日(水)	19時~	伊是名公民館	①昨年の健診結果について②医師の講話
4月18日(木)	19時~	仲田公民館	①昨年の健診結果について②医師の講話
4月19日(金)	19時~	諸見公民館	①昨年の健診結果について②医師の講話
4月22日(月)	19時~	内花公民館	①昨年の健診結果について②医師の講話



# 平成25年度 予算編成について

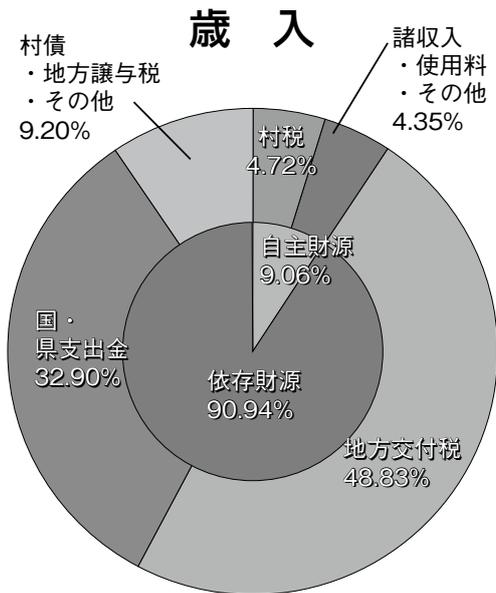
平成25年度の本村予算は、自主財源である村税収入は、景気低迷に影響を受けており個人税・法人税ともに前年度より減になる見込で歳入全体の4.72%となっている。また、依存財源では地方交付税が前年度より2.41%減収で、歳入全体で48.83%となっている。前年度と同様に減収が予想されるため、歳入確保に向け徴収対策強化に努めなければならない。歳出については、義務的経費が歳出全体の約40%と前年度より改善に向かっているが財政の硬直化が依然深刻となっており、これまで以上に歳出削減に努めなければならない。

今後も、公債費適正化計画等に沿った財政運営を強力に進め、引き続き「自主財源の確保」と「歳出の抑制」を推し進めることを目標に予算を編成しました。

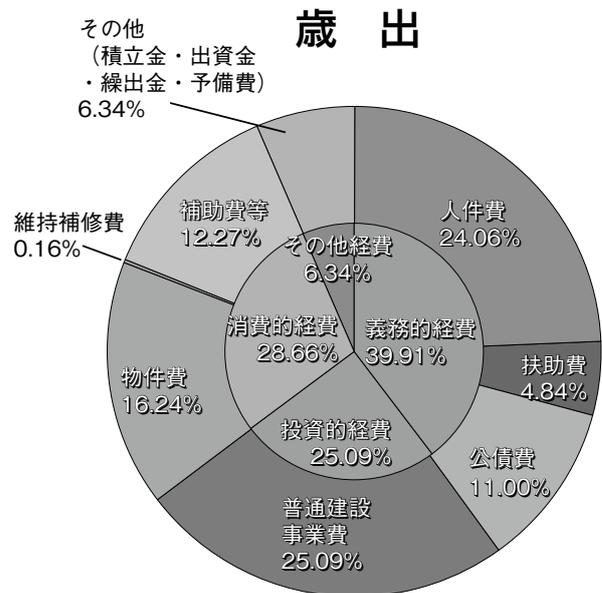
一般会計当初予算額

21億5,841万4千円

(対前年比2億8,587万円、15.27%増)



歳入 (村の収入)



歳出 (村の支出)

村の自主財源である村税は、前年度なみとなり、地方交付税や国・県支出金等の依存財源が歳入のほとんどを占めています。今後は、自主財源の確保をさらに推し進める必要があります。

義務的経費と投資的経費が予算の約7割を占めている(65%)。また消費的経費における物件費や補助費等が伸びてきており、財政健全化により尚一層の歳出削減に努力を推し進めていく必要があります。

村税	101,833千円
諸収入等	93,816千円
地方交付税	1,054,000千円
国・県支出金	710,117千円
村債等	198,648千円

人件費	519,370千円
扶助費	104,574千円
公債費	237,460千円
普通建設事業費	541,461千円
物件費	350,445千円
補助費等	264,779千円
維持補修費	3,480千円
繰出金	130,303千円
その他	6,542千円

## 幼稚園修了式

サクラさいたらいちねんせい

3月18日に第43回伊是名村立幼稚園修了式が行われ15名の園児が“ドキドキドン!1年生”を元気よく合唱し卒園しました。



## 保育所卒園式

だいすきなともだち

伊是名村立保育所では3月22日に卒園式が行われ8名の園児が元気よく卒園しました。



## 小学校卒業式

素敵な思い出を残して

伊是名小学校では3月21日に平成24年度(第130回)卒業式を行ないました。

卒業生一人ひとりが将来の夢と中学校生活に向けた希望を発表したあと、森元幹生校長から卒業生23名に卒業証書が授与され、夢と希望を胸に人生の一つのステップを終えた。

PTA会長の諸見直也さんは「今、君たちは最高に輝いています。小学校で学んだことは中学校生活においても多に役立つはず。これまで以上に自分のこと、周囲の人を大切にしながら、いろいろなことにチャレンジしてください。また、一生懸命頑張ること、精一杯努力することを忘れず、カッコいい中学生になってください」と述べ卒業生を激励しました。

又、卒業生全員に小学校入学から卒業式までランドセルを大事に使用したとして特別表彰のランドセル賞が贈られた。



## さとうきび病害虫「イネヨトウ」一斉防除

伊是名村病害虫防除協議会(島優会長)では、村内で異常発生している「イネヨトウ」の村内一斉防除を3月2日、昨年に引き続き行ないました。

この防除は「フェロモンチューブ」を設置してイネヨトウの雄雌の交信をかく乱し、発生を減らそうというもので、村産業支援センターで行われた出発式では島会長が「イネヨトウ撲滅に向け関係機関協力のうえ頑張りましょう」とあいさつした。

約150人の農家及び関係者が集まり村内の圃場内外に「フェロモンチューブ剤」の設置を終えた。



## 中学校卒業式 郷土の未来担うわれら♪



3月10日に伊是名中学校で平成24年度(第65回)卒業式が行われました。

卒業生23名は“いざ!島立の時 僕らの可能性は無限大夢は天空を翔る!”という旅立ちのことばを残し、15年間育った島を巣立っていきました。

又、東江大君と名嘉未来さんが3カ年皆出席賞で特別表彰されました。

卒業生代表の仲田蓮君は、「努力は人を裏切りません。今しかできないことを一生懸命頑張ってください」と在校生へエールを送り「私達は固い絆で結ばれた最高の仲間です。それぞれの夢に向かって力強く歩いていくことを誓い合いましょう」と力強くあいさつした。



## 高校入試 受験生に、地域の皆さんが激励!

3月7日・8日に行われた高校受験会場(村産業支援センター)では、受験生を励ましたいと、JA伊是名支店女性部の皆さんが、試験を終えた受験生に暖かいココアを準備して一人ひとりに励ましの言葉かけをていました。

女性部の東江とみ子さんが、「体調には十分気を付けて、これまで勉強したことを思う存分発揮して下さい。そして、4月には23名全員が笑顔の春を迎えられることを楽しみにしています。頑張ろう!中3のみんな!」とやさしく語りかけるように話していました。受験生も地域のみなさんの暖かい励ましに感謝の笑顔を見せていました。14日の合格発表では見事に全員合格を果たしました。



## 新鮮モズク 本格的操業はじまる

伊是名漁業協同組合(名嘉哲治組合長)では3月11日に平成25年産モズク操業安全祈願祭を関係者出席のもと行いました。

名嘉組合長は「本年産より最終選別施設が運用開始され、より安全で安心な伊是名島ブランド“美ら島 もずく”を安定供給できる体制が可能となりました。本年産モズクは天候にも恵まれ、好調なスタートとなっています。職員と生産者が連携を図りながら安全操業を心がけ頑張っていきましょう」とあいさつした。

同組合では今期生産量を1,500tと見込んでいる。

又、伊是名村特産品(モズク)最終選別施設の完成に伴い、村と伊是名漁業協同組合が3月1日に施設の管理運営についての協定書を締結しています。



我が家の  
ニューフェイスです。  
よろしくね

たなはら ころが  
棚原 煌牙(男の子)  
平成5年2月19日生  
父・準 母・のぞみ

ご結婚  
おめでとーございます

なかだ しげる くだか きよみ  
仲田 茂・久高 清美  
平成5年2月14日

なかだ まさき なか まり  
仲田 雅輝・名嘉 まり  
平成5年3月5日

お知らせ

平成25年度 小・中学校就学援助制度のお知らせ

本村では、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者の方へ小・中学校に係る費用の一部を援助する就学支援制度を設けています。  
就学援助を希望される場合は、次に掲げる事項に留意のうえ、村教育委員会へ申し出てください。

- 対象者**
- 本村に住所を有する児童生徒の保護者で下記のいずれかに該当する方。
- ①生活保護法に規定する要保護者
  - ②24年度又は25年度に生活保護を停止又は廃止された方
  - ③前年度又は当該年度において、村民税が非課税の方
  - ④その他教育長が援助を行う必要があると認める者

**対象科目**

	学用品	給食費	医療費
小学校	11,100	35,200	医療券
中学校	21,700	42,900	医療券

※医療費は、学校保健法で定める疾病(トラコーマ及び結膜炎、白癬、伝染性の疾患、中耳炎、蓄膿症、アデノイド、う歯、寄生虫)

- 申請方法**
- 申請窓口**・・・伊是名村教育委員会 学校教育係  
**受付期間**・・・平成25年4月15日～5月30日  
**必要書類**・・・就学援助費支給申請書(教育委員会に備えてあります。)  
 住民票謄本、保護者名義の通帳(写し)  
 児童扶養手当証明書の写し(該当者のみ)  
 申請者の認め印

※保険診療の自己負担分が扶助されます。

お知らせ

キジの卵の買い取り

村ではJAと協力して、ここ数年村内で異常繁殖し農作物へ多大な被害を及ぼしているコウライキジの個体数を減らす対策として「キジの卵の買い取り」を実施していますので、農家の皆様のご協力をお願いします。尚、買い取り値段は  
**買い取り場所**：役場農林水産課、又はJA集出荷場まで 1個あたり150円です。



お知らせ

沖縄の米軍関連施設で働いたことのある方およびご家族の方へ

〈石綿による健康被害の救済について〉 **石綿による疾病は、数十年前の仕事でも発症します。**

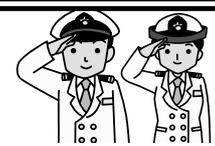
- ※米軍関連施設で働いたことのある方は、石綿にさらされる作業に従事した可能性があります。
- ◆石綿による疾病と認定された場合、**労災保険制度または石綿健康被害救済制度による給付**を受けられる場合があります。
  - ◆お心当たりのある方は、以下の機関にご相談ください。

- |   |   |
|---|---|
| <b>沖縄労働局労働基準部労災補償課(労働者の方)</b><br>TEL098-868-3559    | <b>各労働基準監督署(労働者の方)</b><br>那覇 TEL098-868-8040 宮古 TEL0980-72-2303 |
| <b>独立行政法人 環境再生保全機構</b><br>TEL(フリーダイヤル) 0120-389-931 | 沖縄 TEL098-982-1263 八重山 TEL0980-82-2344<br>名護 TEL0980-52-2691    |

お知らせ

○平成25年度自衛官等募集案内

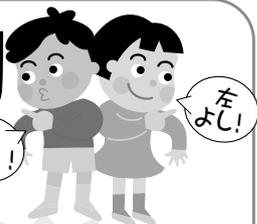
	自衛隊幹部候補生 (一般幹部候補生)	医科・歯科幹部自衛官 (医師・歯科医師)
受付期間	平成25年2月1日～4月26日	
試験日(1次試験)	平成25年5月11日	平成25年5月17日
受験資格	詳しくはホームページをご覧ください。	



**【問い合わせ】**  
 沖縄地方協力本部 名護地域事務所  
 [TEL] 0980-52-4064  
 [HP] <http://www.mod.go.jp/pco/okinawa/>

正しいルール  
教えてね

## 平成25年春の全国交通安全運動



平成25年4月6日(土)  
～平成25年4月15日(月)

～「気をつけて！あおになっても右左」～

★自転車の安全利用の推進！  
(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)

★全ての座席のシートベルトと  
チャイルドシートの正しい着用の徹底！

★飲酒運転の根絶！

飲酒運転は重大交通事故に直結するきわめて悪質・危険な犯罪です。村民の皆さん一人一人が「飲酒運転しない、させない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

運転者は

★運転するなら  
酒を飲まない

★酒を飲んだら  
運転しない

家庭・  
地域では

★運転する人に  
酒をすすめない

★酒を飲んだ人に  
運転させない

“飲酒運転四ない運動を地域ぐるみで徹底しましょう”

シリーズ

## 伊是名村地域包括支援センターだより②

センター運営協議会委員委嘱

センター設置運営要綱とセンター運営協議会設置要綱については、先月号で述べました。

今回は、センター運営協議会についてお知らせいたします。3月21日に村長から9人の委員に委嘱状の交付があり(任期2年)、会長・副会長の選任、センターの役割、平成24年度実績報告、平成25年度事業計画の審議などが行われ、委員と職員が一丸となりセンターの運営に強力に取り組んでいくことを確認しました。

村民の皆さん、センターの利用について委員及び職員に気軽にご相談下さい。委員は次のとおりです。

区 分	No.	氏 名	所 属 機 関 ・ 団 体 名
(1)介護保険サービス事業者及び 職能団体	1	比嘉哲史	県立北部病院附属伊是名診療所
	2	名嘉裕美	特定非営利活動法人 かなさの会 デイサービスセンターかなさ 管理者兼生活相談員
	3	棚原みどり	社会福祉法人いぜな会 居宅支援 事業所チヂン園 介護支援専門員
	④	末吉正己 (安里みや子)	伊是名村社会福祉協議会事務局長 (4月1日より交替)
(2)介護保険サービス利用者・ 介護保険被保険者	⑤	伊禮政美	介護保険サービス利用者の家族
	6	銘苺正康	介護保険被保険者
(3)権利擁護・相談事業関係	7	前里慎一	伊是名村民生委員児童委員協議会会長
(4)学識経験者	8	八木末子	特定非営利活動法人 介護と福祉の調査機関おきなわ 理事
(5)その他村長が認める者	9	上間聖子	理学療法士

○ 会長 ○ 副会長

広報 4月号と一緒にセンターのチラシを各戸にお配りしますのでご利用下さい。

センターに関する問い合わせ先：伊是名村字仲田1385番11(村保健センター内)

電話 (0980)45-2137・2336

Fax (0980)45-2700



# 世代間でのふれあい

3月16日に村臨海ふれあい公園グラウンドにおいて、第7回世代間交流グラウンドゴルフ大会(主催:村社会福祉協議会)が開催された。

この日は絶好のスポーツ日和となり、大勢の子供たちや高齢者が参加し、グラウンドゴルフを楽しんだ。

個人の部で優勝した上里敏長さんは、「こんなスコアは初めて出した。これもチームの子供たちや周りのお陰だね。」と喜んでた。

上里さんは、1ゲーム中ホールインワンを3回も達成し、1ゲーム合計8というとんでもないスコアをたたき出した。

出場した選手の中には今度中学校を卒業した生徒も大勢参加し、島での最後の思い出になったことでしょう。



団体優勝 伊是名チーム

## 福祉3計画策定終了 4月から実施

村住民福祉課では、平成23年12月から策定に取り組んできた第1次伊是名村地域福祉計画(計画期間:平成25年度~平成29年度)、伊是名村高齢者保健福祉計画(計画期間:平成25年度~平成27年度)、第3次伊是名村障害者福祉計画(計画期間:平成25年度~平成27年度)の策定が2月に完了しました。

これに伴い平成25年度からは、計画に基づいて福祉サービスの向上に取り組むこととなります。村民の皆様、福祉に関する相談についてお気軽に役場及び関係機関にご相談下さい。なお、計画書は役場(住民福祉課、保健センター、包括支援センター)、村社協で常時閲覧できます。



## 郷土芸能を堪能

3月18日に村産業支援センターにおいて、「伊是名村舞台芸術鑑賞会」が行われました。

舞台では、沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻OB会の皆さんが「組踊 執心鐘入」や舞踊、喜歌劇「月夜」を演じ、約200名の村民が集い琉球芸能を堪能していました。

## 農業の神様へ感謝



3月13日に土帝君祭祀が、関係者参列のもと字勢理客川口原(字勢理客)と字諸見屋部(字諸見、字内花、字仲田合同)の高台にある祠で行われた。

午前11時頃から祠の前には、芋の蔓をくわえた豚の頭などの供え物が所せましと並べられ、参列者全員で合掌し、豊年豊作を祈願した。



## 島の暦

### 4・5月の月上旬行事予定

- 4/14 日 ・ ニューいぜんドック (~26日まで)
- 21 日 ・ 環境プロジェクト (村内環境美化運動)
- 25 木 ・ 村環境の日
- 29 月 ・ 昭和の日
- 5/ 3 金 ・ 憲法記念日
- 4 土 ・ みどりの日
- 5 日 ・ こどもの日
- 6 月 ・ 振替休日